

志木市第2号被保険者向けアンケート

平素より、市行政に多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、志木市では、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「志木市高齢者保健福祉計画及び志木市第10期介護保険事業計画」を策定します。その基礎資料とするため、皆様の実態や、介護保険制度に関する認知度などを伺うするアンケートを実施させていただきます。対象者は、市内にお住まいの満40歳以上64歳未満の方を無作為で選ばせていただきました。

つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、お手数ですが回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月

志木市

記入に際してのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、ご本人の意見を聞いた上で、代わりにお書きください。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を〇で囲んでください。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和7年12月12日（金）までに投函してください。

インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。

下記の二次元コードを読み込むか、URLにアクセスしてください。

<https://en.surece.co.jp/2025shiki2>

回答ログインID：



PASS：

※ この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

**【お問い合わせ先】志木市 福祉部 長寿応援課
電話 048-473-1348**

問1 あなたについて教えてください。

(1) 性別 [○は1つだけ]

1. 男

2. 女

(2) 年齢(令和7年10月1日現在) [○は1つだけ]

1. 40~44

3. 50~54

5. 60~64

2. 45~49

4. 55~59

(3) 家族構成 [○は1つだけ]

1. 独居

2. それ以外

※1と答えた方は(4)へ、2と答えた方は(3-1)へ進んでください。》

(3-1) 同居している人【あてはまるもの全てに○】

1. 配偶者

4. 子(成年)

7. 兄弟姉妹

2. 父親

5. 子の配偶者

8. 子の子

3. 母親

6. 子(未成年)

9. その他()

(4) お住まいの地域 [○は1つだけ]

1. 上宗岡

3. 下宗岡

5. 幸町

7. 柏町

2. 中宗岡

4. 本町

6. 館

(5) 職業 [○は1つだけ]

1. 雇われている(正規雇用)

4. 無職・家事専業

2. 雇われている(非正規雇用)

5. その他()

3. 自営・経営者

(6) ご家族で成人していて(学生は除く)働いていない(所得がない)ご家族はいますか。[○は1つだけ]

1. いる(歳)

2. いない

問2 ご家族の介護について

(1) 現在、どなたかの介護をしていますか。[○は1つだけ]

※施設等に入所、入居されている方の場合は、「いいえ」としてください。

1. はい

2. いいえ

※1と答えた方は(2)～(7)へ、2と答えた方は(8)へ進んでください。>

(2) あなたが介護をしている人はどなたですか。[あてはまるもの全てに○]

1. 父

4. 祖母

7. 配偶者の母

10. 姉

2. 母

5. 配偶者

8. 兄

11. 妹

3. 祖父

6. 配偶者の父

9. 弟

12. その他()

(3) その方はどちらにお住まいですか。[あてはまるもの全てに○]

※(2)で二人以上に○をされた方で、それぞれの方が違う場所にお住いの場合は、該当するすべての場所に○

1. 同居 (多世帯同居含む)

3. 別居 (市内を除く県内)

2. 別居 (市内)

4. 別居 (県外)

(4) どのくらいの期間介護をしていますか。[○は1つだけ]

※(2)で二人以上に○をされた方で、それぞれの方へ違う期間介護をしている場合は、最も長い期間に○

1. 6ヶ月未満

4. 2年以上3年未満

2. 6ヶ月以上1年未満

5. 3年以上

3. 1年以上2年未満

(5) 介護をしている際の困りごとは何ですか。[あてはまるもの全てに○]

1. 身体的負担や疲労が大きい

6. 経済的な負担が大きい

2. 行動に目が離せない

7. 周囲の理解が得られない

3. 悩みを相談できる相手がない

8. 介護されている方の抵抗がある

4. 自由な時間が持てない

9. 先の見通しが立たない

5. 仕事との両立が難しい

10. その他()

(6) 介護をしている方で18歳未満の方はいますか。[○は1つだけ]

1. いる

2. いない

(7) 介護が原因で進学や就職などが希望通りにならない方はいますか。

[○は1つだけ]

1. いる (年齢)

2. いない

(8) 将来、ご家族のどなたかが介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況、本人の意向にもよると思いますが、現時点でのお考え（または状況）に最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

1. 必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい
2. 施設等で行き届いた介護を受けて生活してもらいたい
3. 親や兄姉、配偶者の親などの年長者の家族がいないため、将来的にも家族の介護が必要となる状況は考えにくい

問3 ご自分が介護が必要となったときについて

(1) 将来、ご自分が介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況にもよると思いますが、現時点でのお考えに最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

1. 可能な限り、介護サービスを受けずに自宅で生活したい
2. 可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい
3. 施設等に入所して介護サービスを受けて生活したい

※1または2と答えた方は(2)へ、3と答えた方は(3)へ進んでください。»

(2)(1)で1または2を選んだ理由を教えてください。[あてはまるもの全てに○]

1. 住み慣れた環境をなるべく変えたくない
2. 他人の世話になるのには抵抗がある
3. 他人との共同生活を望んでいない
4. 自由な生活ができなくなる
5. 経済的に施設等への入所が困難である
6. 施設等をよく知らないため、なんとなく不安である
7. 施設等に良くないイメージを持っている
8. その他 ()

(3)(1)で3を選んだ理由を教えてください。[あてはまるもの全てに○]

- 1. 専門的な介護が受けられる
- 2. 緊急時の対応に安心感がある
- 3. 自宅で受けられる介護サービスをよく知らないので、なんとなく不安である
- 4. 家族に肉体的、精神的負担を掛けてしまう
- 5. 家族関係が悪化してしまう恐れがある
- 6. 他人の世話になる方が気楽である
- 7. 家族がいない
- 8. その他 ()

問4 介護予防への関心について

**(1) 介護が必要にならないために、日常生活で心がけている生活習慣はありますか。
[○はいくつでも]**

- 1. 食べ過ぎないようにしている (カロリー制限)
- 2. 麺類の汁を残す、調味料や漬物を減らすなど、減塩をこころがけている
- 3. お酒 (アルコール) を飲み過ぎないようにしている
- 4. 運動をするようにしている
- 5. 睡眠で休養を十分にとるようにしている
- 6. 気分転換・ストレスを解消するようにしている
- 7. 特にない
- 8. その他 ()

**(2) 介護予防の取り組みの中で、どのようなことに関心がありますか。
[○はいくつでも]**

- 1. 食生活や栄養のバランス
- 2. 適切な運動
- 3. ストレス解消の方法
- 4. 歯と健康の関係
- 5. 脳卒中、糖尿病などの生活習慣予防や寝たきりの予防
- 6. いきがい・楽しみづくり
- 7. 認知症予防
- 8. 地域のグループやサークルへの参加
- 9. 特にない
- 10. その他 ()

問5 介護保険制度全般について

(1) あなたは、満40歳になると、介護が必要となった原因に一定の制約はあるものの、介護保険のサービスを利用できることをご存じですか。[○は1つだけ]

1. はい

2. いいえ

(2) あなたは、満40歳になると、満65歳になる月の前月分まで、加入している医療保険（職場の健康保険、国民健康保険など）の保険料に上乗せされる形で、介護保険料を納めていることをご存じですか。[○は1つだけ]

1. はい

2. いいえ

問6 仕事と介護の両立のための制度について

(1) 雇用されている方については、家族が介護が必要となった場合でも、仕事を辞めることなく両立できるよう、法律に基づき様々な制度が設けられています。あなたは、以下の制度についてご存じですか。[○はいくつでも]

1. 介護休業制度

(介護が必要な家族1人について、通算93日まで3回を上限として休業できる制度)

2. 介護休暇制度

(介護が必要な家族1人について、1年度に5日まで（対象者が2人以上の方は10日まで）、介護休業や年次有給休暇とは別に1日または半日単位で利用できる制度)

3. 短時間勤務等の制度

(事業主は、従業員の家族介護を支援するため、次のいずれかの制度を設けなければならないとされています。)

・短時間勤務制度

・フレックスタイム制度

・時差出勤制度

・介護サービスの費用の助成またはそれに準ずる制度

4. 介護のための所定外労働の制限（介護が終了するまで、残業免除の制度）

5. 深夜業の制限（介護が終了するまで、深夜帯の労働の制限）

6. 不利益取扱いの禁止（介護休業等の申出や取得を理由とした解雇などの禁止）

7. ハラスメント防止措置（介護休業等の取得を理由とした上司、同僚等からの嫌がらせ防止措置の義務づけ）

問7 家族が介護を必要になった時について

(1) あなたの家族が生活の支援が必要となり、介護サービスを受ける必要性が出た場合や相談先として知っているところはどこですか。[○はいくつでも]

1. 市役所
2. 病院
3. 介護支援専門員（ケアマネジャー）
4. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）
5. 社会福祉協議会
6. 民生委員
7. その他（ ）
8. 特にない

(2) あなたの家族が、介護が必要になり、あなたが介護をしなければならない場合、あなたは以下のどれを選択しますか。[○は1つだけ]

1. 施設入居を検討する
2. 仕事を辞めて自分が介護をする
3. 仕事は辞めないで介護サービス等を利用しながら自分が介護をする
4. 自分以外の誰か（兄弟姉妹など）に任せる
5. 特に自分には関係ないと思う
6. その他（ ）

(3) あなたが、家族の介護に備えて準備していることはありますか。
[○はいくつでも]

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 介護保険制度を学習 | 6. 介護技術・知識の習得 |
| 2. 家族・親族への相談 | 7. かかりつけ医に相談 |
| 3. 介護施設情報の入手 | 8. 自宅のリフォーム |
| 4. 介護費用の貯蓄 | 9. その他（ ） |
| 5. 特に何もしていない | |

(4) あなたは、家族の介護と仕事の両立についてどのようにお考えですか。

[○はいくつでも]

1. 介護休業等の勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度と介護保険サービスを活用することで、両立は可能だと思う
2. 勤め先の支援制度と介護保険サービスを活用することで、両立はある程度可能だと思う
3. 介護保険サービスに問題があり、両立は困難だと思う
4. 勤め先の支援制度に問題があり、両立は困難だと思う
5. 勤め先の支援制度と介護保険サービスのどちらにも問題があり、両立は困難だと思う
6. わからない

問8 ACP：アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について

(1) もしものときのために、望む医療やケアについて、前もって考え、ご家族など信頼できる身近な方やかかりつけ医などと話し合い、共有する取組を「ACP：アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」と呼び、推奨されています。

あなたはこの「ACP：人生会議」について知っていますか。[○は1つだけ]

- | | | |
|------------|--------------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはあるがよく知らない | 3. 知らない |
|------------|--------------------|---------|

(2) このように「もしものとき」に備えて、話し合いを進めることについて、あなたはどう思いますか。[○は1つだけ]

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 賛成であり、今から取り組みたい | 3. 反対である |
| 2. 賛成だが、自分はまだ先で良い | 4. わからない |

問9 認知症について

(1) あなたは、以下の認知症に関する内容について、どの程度ご存じですか。

※①～⑨それぞれに回答してください。[○はそれぞれに1つ]

	よく知っている	ある程度 知っている	知らない
① 認知症の原因となる病気（アルツハイマー症など）	1	2	3
② 認知症の症状（記憶障害、妄想、見当識障害など）	1	2	3
③ 認知症の人に対する接し方（話しかけ方など）	1	2	3
④ 認知症の人が入所できる施設	1	2	3
⑤ 認知症の専門病院などの医療機関	1	2	3
⑥ 認知症の人に対するケア（介護）の方法	1	2	3
⑦ 認知症の人が在宅で利用できるサービス	1	2	3
⑧ 認知症の相談窓口	1	2	3
⑨ 若年性認知症について ※65歳未満で発症する認知症	1	2	3

(2) あなたは、(1) の内容のうち、今後詳しく知りたいと思うものはありますか。

[○はいくつでも]

1. 認知症の原因となる病気（アルツハイマー症など）
2. 認知症の症状（記憶障害、妄想、見当識障害など）
3. 認知症の人に対する接し方（話しかけ方など）
4. 認知症の人が入所できる施設
5. 認知症の専門病院などの医療機関
6. 認知症の人に対するケア（介護）の方法
7. 認知症の人が在宅で利用できるサービス
8. 認知症の相談窓口
9. 若年性認知症について ※65歳未満で発症する認知症
10. 特にない

(3) 認知症サポーターについて、知っていることはどのようなことですか。[○は1つだけ]

- 1. 養成講座を受けたいと思っているが機会がない
- 2. 養成講座を受けたことがある（「オレンジリング」を持っている）
- 3. 養成講座を受けたいと思わない
- 4. 養成講座を受けたいと思っており、今後受ける予定である
- 5. 認知症サポーターのことを知らない
- 6. その他（ ）

問 10 その他

(1) 市では、高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を、市内を5つの圏域に分けて、圏域ごとに1か所ずつ設置しています。あなたが高齢者あんしん相談センターについてご存じなことについて、最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

1. センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている
2. センターの存在や機能は知っているが、住所地を担当するセンターがどこにあるのかまでは知らない
3. センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするところかはよくわからない
4. センターの存在をこのアンケートで初めて知った

(2) 市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。[○は3つまで]

1. 雇用機会の拡充
2. 生涯学習、生涯スポーツ等の振興
3. ボランティア活動に対する支援
4. 世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充
5. 健康づくり対策の推進
6. 介護予防・認知症予防に関する事業の充実
7. 在宅福祉サービスの充実
8. 福祉に関する総合相談体制の充実
9. 地域交通の整備
10. 公共的施設のバリアフリー化の推進
11. 地域の見守り活動等に対する支援
12. 緊急時、災害時の支援システムの充実
13. 判断機能が低下した場合の支援体制の充実
14. 敬老意識の啓発
15. 住まいに関する支援体制の充実
16. その他（ ）

その他、介護保険制度や高齢者施策について、ご意見等があれば自由に記載してください。

*** 調査にご協力いただきありがとうございました ***